

「大英博物館にみるイギリス文化」（第7回日欧比較文化研究会、平成13年7月）

イギリス文化事情研究の一環として「大英博物館」に注目した。大英博物館に注目すれば、イギリス文化だけでなく、征服・侵略の歴史が集約されている。象形文字解読の手掛かりとなったロゼッタ・ストーンをはじめ、ベートーヴェンの手書きの楽譜など、他国の文化遺産も多く所有している。これには戦争の大きな鍵を握っていることはいままでもないことである。大英博物館の所有物は単なる文化遺産ととらえるのではなく、イギリスの戦争史を象徴する側面を持っていることを忘れてはならないのである。